



4月8日、田崎小学校の校庭で「田崎小学校の空襲を語る会」が開かれました。

講演を行ったのは、戦時中に田崎国民学校に通い、4月8日の空襲を経験した3人の戦争体験者。当時の空襲の様子などが語られ、参加した小学生から大人まで約40人の人たちは、実際に起こった戦時中の話に深く聞き入っていました。

終戦から時が経つにつれ、戦争を体験した人の高齢化が進み、その数は年々少なくなっています。終戦時に10歳だった人でも今では83歳。戦争体験を直接聞くことができなくなる日が近づく今、次の世代に平和な社会をつないでいくために、戦争を知らない世代の人たちも、戦争の歴史について学び、語り継いでいかなければなりません。

戦争の悲惨さを 知る。 平和の尊さを 伝える。

米軍による空襲は、日本全国の都市で行われました。なかでも、米軍の沖縄への侵攻を食い止めるために、特別攻撃隊の出撃が次々と行われていた鹿屋・申良など南九州の特攻基地は、米軍からの徹底した攻撃に遭いました。特攻基地を空襲することで、その軍事機能を低下させる目的があったのです。

旧鹿屋地区を例に挙げれば、家屋の全焼・半焼・倒壊など、使用できなくなった家屋は4,869棟、強制疎開は220棟と、市民の被害は全戸数に対して26.6%に達したといわれています。

空襲は、人や建物のほか、軍施設や小学校、隔離病舎、駅などの公共施設、農地などにも被害を及ぼし、市民の生活や農業などの営みにも大きな影響を与えました。



一方で、市内の中心市街地周辺は空襲の被害をあまり受けませんでした。これは、米軍が進駐した後に市街地を使用するためだったと言われています。

昭和20年8月まで、空襲を受けた全国の都市は、およそ200以上。同年8月には、広島・長崎に原子爆弾が投下され、日本は降服しました。

軍人だけでなく一般人までもが犠牲を強いられる悲惨な戦争は、人々とその生活に深い悲しみをもたらしました。

鹿屋平和学習ガイド 戦争遺跡案内所

鹿屋市観光物産総合センターの一角に、市内の戦争遺跡を紹介するコーナーができました。土・日曜日を中心に、ガイドがいる時には関連する話を聞くこともできます。10日前までに予約すれば、戦争遺跡の現地での案内も行っています。(有料)

●所在地 鹿屋市西原3-11-1 ●料金 無料
☎鹿屋市観光協会 Tel.0994-41-7010



鹿屋航空基地史料館

今年で開館から25周年を迎えた史料館。海軍航空の発祥から特攻作戦、現在の海上自衛隊の活動に至るまでの貴重な資料のほか、戦時中の鹿屋に関連するパネル・資料なども見ることができます。

- 所在地 鹿屋市西原3-11-2
- 休館日 12月29日～1月3日
- 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 入館料 無料
- ☎鹿屋航空基地史料館 Tel.0994-42-0233



原爆写真パネル展

戦争のない平和な世界の実現を目指して、平和の尊さについて考え理解を深めることを目的とし、原子爆弾の悲惨さを伝える写真パネル展です。

- 日時 8月6日(月)～16日(木) 8:30～17:00
- 場所 市役所1階壁画前
- ☎市政策推進課 Tel.0994-31-1125



平和の花束 2018

多くの若者が特別攻撃隊として飛び立っていった鹿屋の地から、平和へのメッセージを世界に発信します。小学生から高校生まで、応募のあった3,262点の中から選ばれた最優秀賞作品の朗読があります。

- 日時 8月29日(水) 13:30～16:30
- 場所 リナシティかのや3階ホール ●入場料 無料
- スケジュール
- 【第1部】 平和へのメッセージ
受賞者表彰、最優秀賞受賞者朗読
- 【第2部】 平和を考える
鹿屋平和学習ガイドによる戦争遺跡についての講演
- ☎市学校教育課 Tel.0994-31-1137

第六垂水丸に関する 講話と朗読会

戦時中の昭和19年2月、垂水港沖で第六垂水丸が転覆・沈没し、日本の海難事故で2番目の規模となる犠牲者を出した事故をテーマにした、講話と朗読会です。

- 日時 8月27日(月) 19:00～21:00
- 場所 あゆみ学院(今坂町) ●入場料 無料
- ☎第六垂水丸語りの会 Tel.0994-43-9814 (稲垣)